

# 福岡県で国内初の ランピースキン病発生

- 令和6年（2024年）11月6日に福岡県の乳用牛飼養農場で国内では初めてとなるランピースキン病の発生が確認されました。
- 皮膚の結節や水腫、発熱などにより生産性に影響**
- 蚊などの機械的伝播、汚染物や牛の移動で感染拡大**
- 毎日の健康観察で異常がないかを確認してください。
- 飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、農場内への病原体の持ち込みを防いでください。

## ランピースキン病

ランピースキン病とは

届出伝染病 WOAH通報対象疾病

病原体

ランピースキン病ウイルス（ポックスウイルス科カプリポックス属）

宿主

牛、水牛（※人への感染はない）

症状

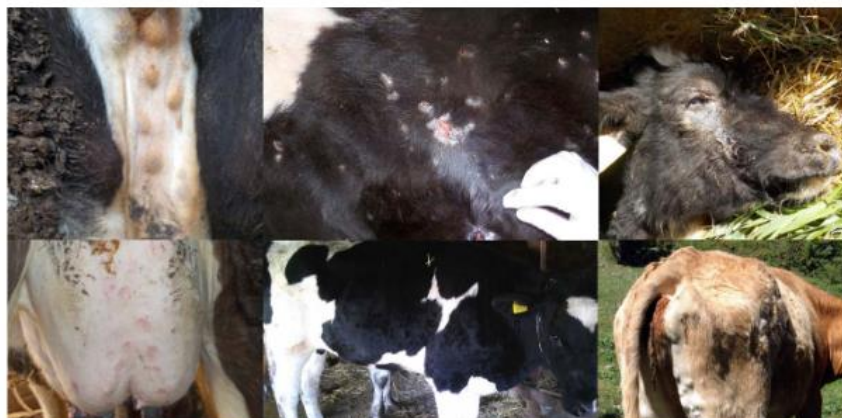
皮膚の結節や水腫、発熱、抑うつ、リンパ節の肥大、粘膜の結節、鼻や目の出血、乳汁の減少、脚の腫れ、跛行など。泌乳ピーク期の乳牛や子牛で症状が重い、生産性低下・経済的被害大、死亡率1～5%。

伝播方法

- ベクター（蚊、ハエ、ダニなど）によって機械的に伝播。
- 汚染された飼料、水、器具を介して感染。（肉による伝播リスクは無視できる）

予防と制御

海外では主に感染地域の牛の移動制限、症状のある牛のとう汰、及びワクチン接種が行われている。



出展：WOAHウェブサイト (<https://www.woah.org/en/disease/lumpy-skin-disease/>)

FAOウェブサイト ([http://www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/eufmd/LSD/LSD-002\\_text\\_NO\\_logos\\_2\\_.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos_2_.pdf))

農林水産省、ランピースキン病に関する情報：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/lsd.html>

疑わしい症状や気になることがあれば家畜保健衛生所へご連絡ください。**沖縄県北部家畜保健衛生所 0980-52-2939**